科目番号	54023	分類	専門科目 保健医療福祉政策論	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	公共政策論 （ Public Policy Studies ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期
担当者	○下井 直毅	区分	必修	単位	2	時間数 30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 日本の公共政策の中で，医療経済学に焦点を当てて，その特徴や内容について学ぶ。また，医療を中心とした公共政策の分野に関する基礎知識を習得し，将来の政策形成に参与できる能力を養う。 【目　標】 日本の公共政策の内容に対して関心を持ち，全体像を理解する。また，それを分析するための枠組みとしての公共政策論を学び，身につける。		1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
		3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
	○	4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
		6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回	病院業界を取り巻く現状	下井
第2回	病院と政策との関わり	
第3回	病院が抱える慢性的問題	
第4回	病院の質はどう守られているのか	
第5回	病院業界の経営	
第6回	医療関連ビジネス	
第7回	医療経済学の基礎	
第8回	国民医療費ついて	
第９回	医療の無駄について	
第10回	医療技術の効果と費用	
第11回	医療不足問題	
第12回	貧困の問題	
第13回	持続可能な医療システム構築	
第14回	医療現場の行動経済学	
第15回	まとめ	

事前・事後学習	事前学習：前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。 事後学習：講義内容の復習と次回講義の準備を 1.5 時間以上の時間をかけて取組むこと。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	出席点あるいは授業の平常点（30%），試験（70%）。合計 100%で 100 点満点。 100 点満点中 60 点以上であれば単位を付与する。
参考図書・資料等	大竹文雄，平井啓「医療現場の行動経済学: すれ違う医者と患者」東洋経済新報社，2018 年 大竹文雄，平井啓「実践 医療現場の行動経済学: すれ違いの解消法」東洋経済新報社，2022 年 中村恵二，山口大樹「最新 病院業界の動向とカラクリがよ～くわかる本」秀和システム，2024 年 三森義夫「病院業界のしくみとビジネスがこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社，2023 年 康永秀生「経済学を知らずに医療ができるか!? 医療従事者のための医療経済学入門」金芳堂，2020 年
備　　考	オフィスアワーについては，学生便覧を参照し，教員と日程調整をする。